

2016年2月1日

報道関係各位

三菱地所株式会社

～フィンテックの拠点が日本最大の金融集積地「大手町」に誕生～
「THE FINTECH CENTER of TOKYO FINO LAB(フィンテックセンター オブ 東京 フィノラボ)」が
本日2月1日にオープン

三菱地所株式会社は、株式会社電通と株式会社電通国際情報サービスと協業で、フィンテック*¹企業に向けた日本初のコワーキングスペースとして、「THE FINTECH CENTER of TOKYO FINO LAB」(※通称:フィノラボ)を東京銀行協会ビル(東京都千代田区丸の内一丁目3番1号所在)において、本日2月1日に開設しました。

*¹: Finance と Technology を掛け合わせた造語で、IT (Information Technology) を活用し、金融、決済、財務などに革新をもたらす活動のこと

本施設は、机やイスなどの什器や通信設備をユーザーに提供するサービスシェアオフィスです。またコワーキングスペースのほかに、セミナールームを設け、イベント(勉強会等)を開催することで利用者同士の活発なコミュニケーションだけでなく、外部の方をも巻き込んだイノベーションが期待できます。

欧米では金融とITの融合であるフィンテックの新たなサービスが数多く誕生しています。今後、日本においても新たなフィンテック関連ビジネスが急速に発展していくことが見込まれますが、金融機関や弁護士事務所・会計士事務所などのプロフェッショナルファームが集積し、日本の金融ビジネスの中心地である大手町地区において、FINO LABがフィンテック企業の新たな集積拠点となり、日本経済を牽引する大企業との相乗効果による新たなビジネス創出を目指していきます。

また、フィンテック業界のプロフェッショナル有志個人が集結し設立した一般社団法人金融革新同友会「Finovators」(代表理事:増島 雅和)がFINO LABに活動拠点を置くことも決定し、豊富なネットワークとノウハウでフィンテック企業への支援をするとともに、FINO LABに集積する企業間のコラボレーションの相乗効果が加速されるようなエコシステム*²の構築を目指します。

*²: 複数の企業が商品開発や事業活動などでパートナーシップを組み、互いの技術や資本を生かしながら成長して規模が拡大したところで、スタートアップ企業に投資をすることで新たな企業の成長を促す循環のこと

大手町地区を含む丸の内エリアは日本のビジネスの中心地として、日本経済を支えてきた歴史があります。今後も三菱地所は、成長企業の活動拠点を整備し、新たなビジネスを創出する場や企業の枠を超えた交流活動の場を作り出すことで、企業の成長やイノベーションの循環を生み出し、「人が主役」のまちづくりを進めてまいります。



協力:(株)岡村製作所

<FINO LAB の概要>

名 称 : THE FINTECH CENTER of TOKYO FINO LAB

U R L : <http://finolab.jp/>

住 所 : 東京都千代田区丸の内一丁目3番1号 東京銀行協会ビル 14 階

面 積 : 275 坪

施設概要 : ①コワーキングオフィス 75 席

②5~10 名用の共用会議室 12 室 (個室利用としての貸出も可)

③6~8 名用の来訪者会議室 3 室

④イベントスペース (最大 80 名程度収容可)

⑤皇居ビューを有するリフレッシュルーム等



※レイアウトは変更する可能性があります。

<一般社団法人金融革新同友会 Finovators の概要>

日本の金融イノベーションを願うプロフェッショナルたちが、エコシステムの形成のために集まって立ち上げた有志からなる集団で、2016年1月に FINO LAB 設立予定地を本店に社団法人登記。代表理事以下のメンバーは全員個人活動として参加し、スタートアップ企業への協力や関係各省庁への提言活動などを行っていく予定。メンバーは法律家、コンサルタント、投資家、ITプロフェッショナル、フィンテックメガベンチャーの経営者などで構成されています。

◆FINO LAB のロゴマーク

FINOLAB

THE FINTECH CENTER of TOKYO

■案内図



Dynamic Harmony

Tokyo Marunouchi

当社は 2015 年 8 月、丸の内（大手町・丸の内・有楽町・常盤橋地区）エリアのまちづくりコンセプト「Open」「Interactive」「Network」「Diversity」「Sustainable」を踏まえ、まちづくりコンセプトを伝えるワード「Dynamic Harmony」を制定しました。

「あらゆるものをダイナミックに調和させ、新たな価値を生み出す街」丸の内。それは、私たち三菱地所が世界に発信する街のあり方です。